



あぐりサポートニュース

～12市町村 復興再生への取組 《南相馬市》～

(公財)福島県農業振興公社

南相馬市における営農再開状況及び農地中間管理事業の取組

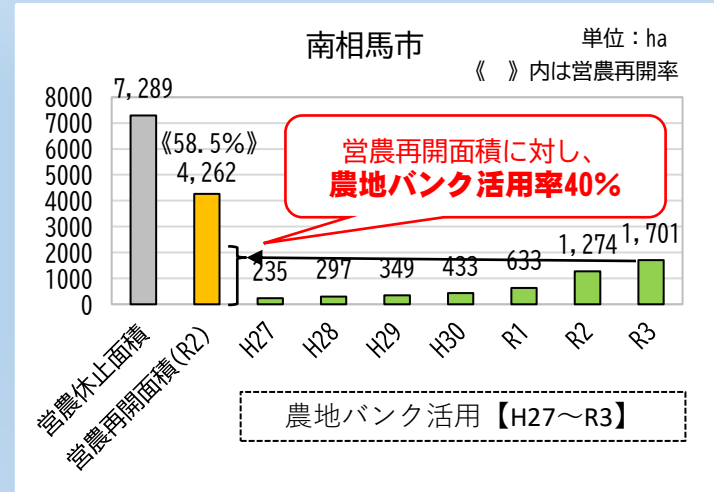
南相馬市は、浜通り有数の産業・経済規模を有していますが、農業も盛んで、水稻や園芸作物などによる大規模な営農が増加し、震災・原発事故からの復興の最前線となっています。

東日本大震災から11年が経過し、農地や農業用施設の復旧・復興が進み、津波被災農地面積2,722haのうち、65%の1,782haが復旧され営農可能となっています。


また、震災前(H22)の水稻作付面積は5,030haでしたが、原発事故により平成23年度は市内全域で作付制限となりました。その後、農家の皆さんをはじめ、多くの関係者の努力により営農再開が年々進み、令和2年度は4,262ha (85%) まで回復しています。

令和3年度における南相馬市の農地バンク事業の実績は、427ha (内訳、鹿島区62ha、原町区301ha・小高区64ha) でした。

その中で市町村コーディネーターは、各地域の説明会に参加し、農地バンク事業の普及活動や、契約手続き (右写真のとおり) などを行っております。住民の皆様との話し合いにあたっては、丁寧な説明を心掛けていますので、お気軽に御相談ください。



《市町村コーディネーター 自己紹介》



南相馬市担当の羽根田 智正 (はねだ としまさ) です。今年の4月より、農地バンク事業の市町村コーディネーターとして、南相馬市農政課内に駐在しております。

営農再開に向け、関係機関と連携し農地バンク事業推進を図りたいと考えており、農地集積・集約に向け地域の方々と将来について話し合いを十分に行い、農地バンクを活用した営農再開を目指しています。

